

アジア諸国における新型コロナウイルスへの対応



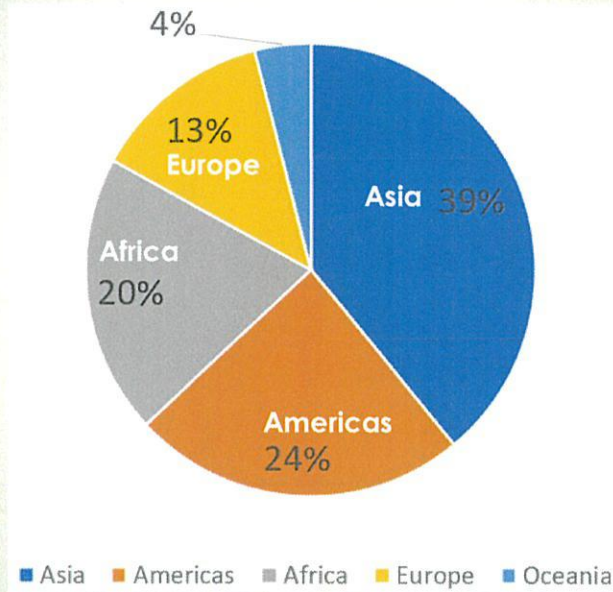
アジア防災センター
所長 中川 雅章

アジア防災センターは、31のメンバー国を有するアジアの防災情報機関



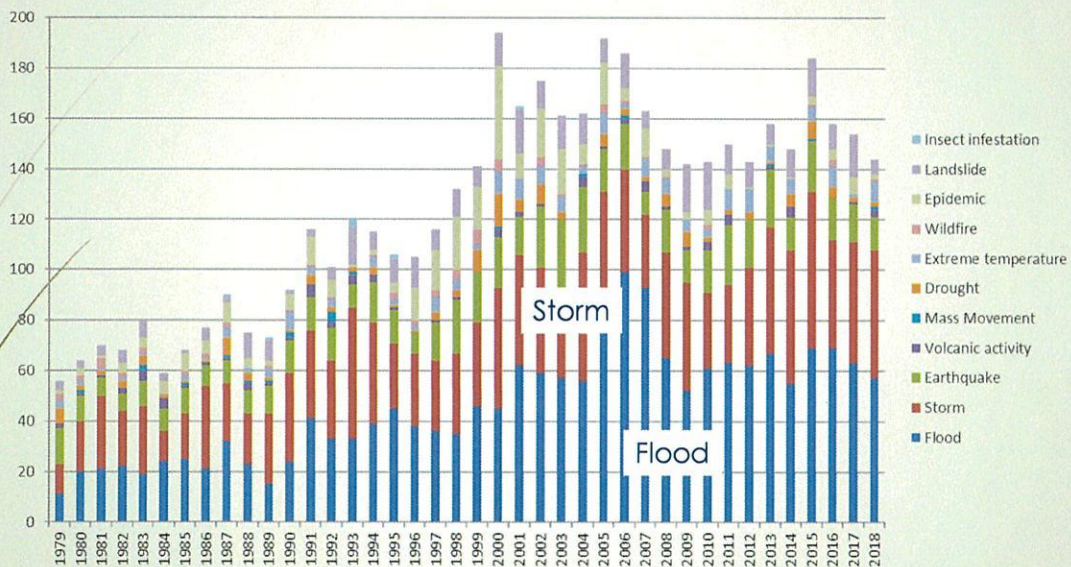
アジアでは、毎年、災害が多発

自然災害の発生数(1979-2018)



Source: The OFDA/CRED International Disaster Database - www.emdat.be
Universite Cathorique de Louvain, Brussels (Belgium) and UN

災害の多くを風水害が占める



Source: The OFDA/CRED International Disaster Database - www.emdat.be
Universite Cathorique de Louvain, Brussels (Belgium) and UN

各国における新型コロナウイルス対応（ネパール）

移動制限

- 2020年**3月24日**から**ロックダウン**実施
副首相率いるCovid19予防管理ハイレベル調整委員会による勧告。
実施には、**軍、警察が関与**
- 家族1名のみ「生活必需品購入のために 外出することを許可。
外出にはトラベルパスが必要。医療関係者等は除外
- **公共交通機関は運休**
- 海外渡航は原則、禁止（医薬、食品関連を除く）

社会的距離の確保

- 大規模な集会の禁止 全ての学校は休校
- **マスクの着用は法制化（罰則あり）**

経済活動、生活支援

- ホテル等は営業禁止。銀行、健康支援、食料品の提供等、
限定されたサービスは継続
- **貧困者等には、自治体が食糧を配布**

各国における新型コロナウイルス対応（フィリピン）

移動制限

- 2020年**3月16日**から**ロックダウン**実施
大統領による緊急事態宣言発令。政府がルソン島に対しロックダウンを
発令。他の州もそれに倣う
実施には、**軍事警察が関与**
- 家族1名のみ「生活必需品購入のために 外出することを許可。
- **外出には検疫パスが必要**。医療関係者等は除外
- **公共交通機関は運休**
- 海外渡航は原則、禁止（医薬、食品関連を除く）

社会的距離の確保

- 大規模な集会の禁止 全ての学校は休校
- **マスクの着用は法制化（罰則あり）**

経済活動、生活支援

- ホテル等は営業禁止。銀行、健康支援、食料品の提供等、限定さ
れたサービスは継続
- **貧困者等には、自治体が食糧を配布**

各国における新型コロナウイルス対応（アルメニア）

移動制限

- 2020年**3月16日からロックダウン**実施
副首相率いるCovid19に関する特別対策チームを組織
実施には、**警察が関与**
- **外出の際には、政府配布のアプリに必要事項を記入**
(アプリユーザーが、COVID-19の症状に関する
オンラインセルフテストを行うことで、感染しているかどうかを確認)
- 海外渡航は原則、禁止（許可を得た者を除く）

社会的距離の確保

- 20人以上の集会の禁止 全ての学校は休校

経済活動、生活支援

- 政府は、施設の強制閉鎖権限を持つ
- テレワークの推奨
- **仕事を失った者、生活困窮者等に、8種類の給付金制度**
自動的に送金され、申請の必要なし

新型コロナウイルス対策における防災機関の役割

多くの国において、防災機関が新型コロナウイルス対策に大きな役割

➤ 政府の緊急対策のとりまとめ

例 フィリピン等

国家災害リスク軽減・管理評議会NDRRMC

COVID-19に関する省庁間タスクフォースを率いている。

COVID-19 リスクマネジメントガイドラインをとりまとめ

➤ 支援物資の配布

例 スリランカ等

国家災害管理局 (Disaster Management Centre)

洪水、大雨等により被害を受けた人々への政府支援

COVID-19において、人々に支援物資を届けるために活動

➤ ICTを使った移動追跡

例 モンゴル等

国家災害管理機関 (NEMA) 避難支援のための移動追跡のノウハウを新型コロナ対策に活用

新型コロナウイルス感染拡大下における防災対応

事例1 サイクロン アンファン (Amphan タイ語 空)
5月20日 ウェストベンガルに上陸
インドで200万人、バングラディッシュで220万人が避難
スリランカ、タイ、ミャンマーなど広範囲に影響

避難行動における課題

- ロックダウン下で避難行動が遅滞
- 避難所が過密状態
一部の避難所はサイクロンで破壊
急遽、公共施設を避難所に指定
- マスクや衛生用品など感染予防物資の備蓄が必要
- 避難民キャンプにおける状況が悪化

新型コロナウイルス感染拡大下における防災対応

事例2 台風 ヴォンフォン (Vongfong スズメバチ 広東語)
5月14-15日 フィリピン
9つの州で約58万人が被災。各地で洪水、土砂災害等が発生。5万7千余りの家屋が被災。

避難行動における課題

- ロックダウン下で避難行動が遅滞
- 避難所が不足
一部の避難所は新型コロナ患者の隔離施設として使用
- 避難所が過密状態
学校の避難所では1教室に2家族まで収容
- マスクや衛生用品など感染予防物資の備蓄が必要

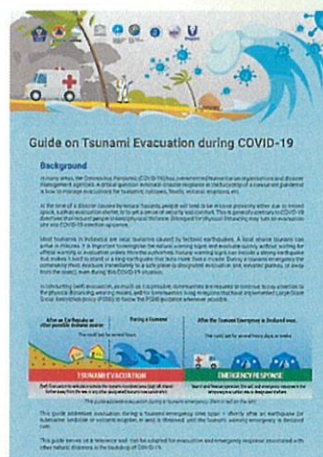
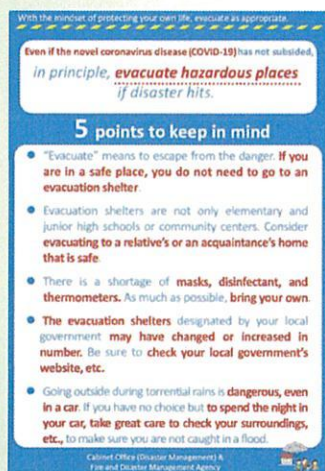
新型コロナウイルス感染拡大下における防災対応

その他の共通する課題

- ✓ 防災機関が新型コロナ対応で多忙となっており、災害に十分、対応することが困難
- ✓ 指定された避難所が、コロナ感染者の隔離のために使用されている等で使用できないことがあるため、事前のきめ細かな避難指示が必要
- ✓ 避難所における感染予防対策、感染者発生時の隔離等の対策が新たに必要
- ✓ 避難所及び災害対応担当者に感染予防のための装備が必要

新型コロナウイルス感染拡大下における防災対応

各国において、新型コロナ感染拡大下における防災対応のためのガイドライン等が作成されている。



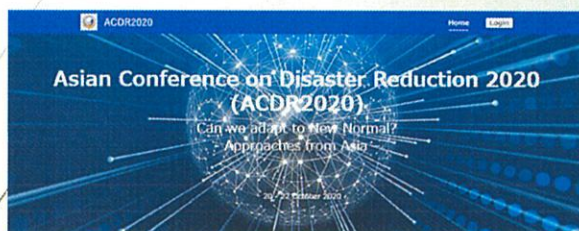
左は、日本政府が作成したコロナ感染下での避難のためのガイドライン。15か国語に翻訳されている。右は、インドネシア政府が作成したコロナ感染下での津波避難のためのガイドライン

ウイルスに対する脆弱性の増大

- ✓グローバルな人の移動
- ✓都市化の進展
- ✓格差の拡大

アジア防災会議2020（10月20日－22日）

アジア防災センターでは、「（議題1）気候変動への対応」と、「（議題2）新型コロナウイルス感染拡大下における防災対策のあり方」について、メンバー国、専門機関等と議論するため、アジア防災会議2020を開催



3-day Virtual Conference



議題2 新型コロナウイルス感染拡大下における防災対策について

論点例

- ✓新型コロナウイルス感染症に対する科学的知識や対処法が十分に理解されず、災害発生時に感染拡大を助長する行動がとられる。
- ✓Social Distancingを考慮した避難者の受け入れや隔離をするには既存避難所の広さや運営人数に限界がある。
- ✓With 新型コロナを考慮したSOPの策定必要性。
- ✓With 新型コロナにおけるBCP・BCMの作成。